

令和4年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校園名

加古川市立平岡東幼稚園

1 教育目標 自分で考え行動する 心やさしい子の育成

2 基本方針

幼稚園の生活の中で自ら心を動かす物事に会い、遊びに取り入れたり、また友達と一緒に工夫したり考え合ったりしながら遊ぶ楽しさを味わい、主体的でたくましく生きる力を育む。

3 指導目標

(1)のびのびと活動し、あきらめずにチャレンジする子 (2)自分の思いを伝え、素直に表現する子 (3)様々な人とふれあい、相手の気持ちを感じる子

評価基準

A:できている

B:だいたいできている C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
基本的な生活習慣を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで挨拶をする。 早寝早起きをし、朝食を食べる。 自分でできることは自分でしようとする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立には家庭との連携が必須である。保護者に学習の基盤になることを伝えるとともにその大切さが実感できるように、参観や親子活動等、頑張りカードや遊びなど取り入れて工夫する。
豊かな体験を通して主体的に活動する。	<ul style="list-style-type: none"> 思う存分身体を動かして遊ぶ。 身近な自然に興味関心を持ち、取り入れて遊ぼうとする。 自分なりの目標をもって色々な運動遊びに取り組み、達成感や満足感を味わう。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 経験不足の幼児が多く、身近な自然に興味をもったり色々な運動遊びを取り組んだりするには、教師がもっと環境を作り遊びを計画する必要がある。園内では限界があるので近隣の田畑などに出かけるなどの具体的な工夫をする。
様々な人とかかわる中で愛情や信頼感、自己肯定感を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 友達や身近な人に親しみ、一緒に遊ぶことを楽しむ。 自分の思いや考えを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする。 友達の思いに気付き、受け入れて遊ぼうとする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の獲得のために生活や遊びの中で端的でわかりやすい言葉を使ったり、絵本に親ませたり、話したいと思う環境作りをする。 相手を受け入れるだけでなく、意思表示し思いを実現することが自信となり、自己肯定感も高まっていく。今後も個々の思いを教師が大切に受け止めることを意識して保育に努めたい。

自己評価の適切さ (関係者評価)	達成状況
家庭内でしてきたことを、今は園に任せている部分もあるように思う。家庭教育力が大切であるので、家庭と連携しながら今後取り組んでほしい。	A
コロナで戸外で遊ぶ機会が減り、環境を作り出すことが難しい時期もあった。しかし、園児は木の実や小虫など親しめるようになったと思う。家庭ではできない経験ができるよう引き続き取り組んでほしい。	A
オープンスクールで教師と園児との関わりで、活発な言葉のやり取りを観て、家庭ではできない経験ができていると感じた。	A